



福島支部会報 13号

日本山岳会福島支部

(平成28年10月から12月の活動)

平成29年(2017年)1月1日発行

公益社団法人日本山岳会福島支部

支部長 小林 正彦

事務局 〒960-8133 福島市桜木町13-43

渡部 展雄 気付

電話(FAX): 024-533-0541

携帯: 090-2880-9805

小林正彦支部長新年のあいさつ

会員各位におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の支部活動を振り返りますと、公益活動面では、8月11日の第1回「山の日」において支部主催による「あだたら山親子登山」に県内から62名の親子が集い、支部運営にも大きな励みになりました。

共益活動では7月の東北・北海道地区集会(秋田・森吉山)に14名が参加したのをはじめ、創立70周年記念飯豊山縦走には登山隊9名のほか、5名がサポート隊に加わり、ほぼ完全縦走を成し遂げ、また9月には4年越しの黒部源流「下の廊下」踏破も果たしました。

今年は支部創立70周年という記念すべき年でもあります。会員の皆様のさらなるご協力を得て各行事を推し進める所存であります。2月の新年会、4月の総会には多くの会員の皆様からのご意見をお聞かせ戴きたくお待ちしております。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

共益事業報告

穂高・涸沢紅葉登山の実施



モルゲンローテの奥穂高 涸沢槍 滝谷など

10月16日～18日、穂高・涸沢の紅葉紀行を実施。今回の山行は半ば恒例となった支部年間計画「秋の北アルプス登山」の一環であり、最高齢の伊藤義男氏以下6名が参加。

初日(10/16)は曇り、2日目(10/17)は夜来からの大雨でしたが、行けるところまでと上高地・山研を出発、明神池、徳澤園、横尾へと進み雨は小降りとなり、涸沢へ。横尾岩小屋、屏風岩の険峻な絶壁には、幾筋もの滝が流れ落ち、紅葉と相まつの絶景を楽しみながら登る。

本谷橋(仮橋)からはひたすら登りの連続となり、17:00ようやく涸沢ヒュッテ着。なぜか宿泊客も少なく、夕食も豪華、となりのイビキを除けば静かな一夜であった。



3日目(10/18)は天候も回復、モルゲンローテの涸沢絶景を楽しむことができた。今回の登山はここまで。ザイテングラート、北穂高、前穂高の頂を背に「穂高よさらば」を口ずさみながら下山。

参加者 伊藤義男、佐藤一夫、熊谷鶴三
石井洋子、三瓶恵子、渡部展雄 以上6名

支部創立70周年「ニッ箭山」登山

支部創立70周年記念山行の最終計画となるいわき「ニッ箭山」登山を11月14日に実施。参加者は14名、その集合場所であるJR磐越東線・小川郷駅に集合した後、登山口まで車で移動、紅葉の沢コースから男体山、女体山を目指し、11:00山頂着昼食とする。

この山は標高こそ709mと高くはないが花崗岩の険峻な岩場に、春のヤシオツツジと錦秋を彩るモ



(左)と石井両女子会員の岩壁登攀に挑戦



後右から
古川英勝
高田雅雄
三瓶恵三
橋本亮三
小林正彦
渡部展雄



前列右から
佐藤一夫
菊池道彦
佐藤憲子
石井洋子
熊谷鶴三
伊藤義男
青柳勲
深谷金之助

JAC年次晚餐会に480人参加

皇太子殿下御臨席のもと、恒例の年次晚餐



会が 12 月 3 日（土）、新宿京王プラザホテルで開催され、小林正彦支部長以下支部から 3 名が出席した。

会長挨拶、物故会員（田部井淳子、谷口けいほか 51 人）黙祷、恒例の鏡割りと続き、新入会員紹介・挨拶に立った静岡支部 20 歳の女性会員が、「60 歳までは行くと思っていた下ノ廊下



左から渡部展雄 小林正彦 本多彦一

に 20 歳で行け、南アルプス不動岳に大感動、」と JAC の魅力を紹介、会場から拍手も起こった。

その後は総勢 480 人が一堂に会し、全国の仲間と懇親を深めることができた。

支部第 2 回（拡大）役員会開催

11 月 11 日（金）二本松男女共生センターにおいて「支部第 2 回（拡大）役員会」を開催。議題は①平成 28 年度支部活動総括 ②平成 29 年度支部活動方針 ③支部創立 70 周年記念事業の 3 点について協議した。この中で特に記念誌編集委員会（委員長逸見征勝）から、記念誌発行にかかる経費高騰の実態が説明され、今後の善処策について協議。

機関紙編集委員会では本案件について、2 月 4 日開催の支部役員会に提案、意思決定を図る。

公益事業報告

吾妻山植生復元作業に 7 人参加

10 月 22 日（土）、吾妻山自然倶楽部（会長・清野義美）主催の植生復元作業支援のため支部から 7 名が参加。東吾妻山頂付近で丸太の設置、ネット張りを行なった。東吾妻山頂付近は、登山道の荒廃と人為的な植生退化が進み、立ち入り禁止措置と砂礫流出防止のための作業を行った。

全参加者 20 名、うち支部からは清野義美、小林正彦、丹治誠次、佐藤一夫、小柳安弘、渡辺敏雄、渡辺健二の各氏が参加、汗を流した



東吾妻山頂上付近の荒れた登山道に、丸太を敷設する会員ら

事務局からのお知らせ

支部新年会開催予定について

○開催日時 平成 29 年 2 月 4 日（土）17:30～
○開催場所 二本松駅前・旅館「大宗」（だいそう）
懇親会費等の詳細は、支部員各位宛に別便でお知らせします。

70 周年記念誌寄稿のお願い

福島支部創立 70 周年記念誌への会員個人からの寄稿は、12 月末日現在、会員 73 名中 49 名から提出いただいております。締切日は昨年 9 月 20 日としましたが、1 月末までであれば最終校正・印刷が可能です。未提出会員の方は早期に提出をお願いします。

題名・内容は自由、文字数は 400～800 字程度であれば形式は問いません。

（70 周年記念誌編集委員会：逸見征勝 記）

JAC 準会員制度と会員カードの発行

JAC では会員拡大のため昨年の定期総会で次の制度を取り入れることになりました。

①準会員制度

日本山岳会入会のハードルを低くし会員増を図る目的で「準会員制度」を導入した。入会金 5 千円、年会費 6 千円、3 年経過して正規会員に移行しない場合は除籍。

②会員カードの発行

会員サービス向上のため「会員カード」を発行する。手続き的には会員個人が千円を負担し、当該カードを提示利用により、山小屋宿泊代やスポーツ店での商品購入が 5 パーセント引きとなる。

その効果はこれからの取り組み次第か？

平成 29 年度「東北・北海道地区集会」等

平成 29 年度全国およびブロック規模の集会・催しは次の日程場所で行われます。参加を希望される方は申し込み締め切り日（別途通知）までに事務局へ連絡ください。

①東北・北海道地区集会

日時 平成 29 年 5 月 27 日（土）28 日（日）
場所 岩手県遠野市、六角牛（ろっこうし）山

②平成 29 年度全国支部懇談会

日時 平成 29 年 10 月 13 日（土）、14 日（日）
場所 茨城県筑波山温泉「つくばグランドホテル」

③第 2 回「山の日」記念全国大会

日時 平成 29 年 8 月 11 日（金）
場所 栃木県 那須町
詳細日程は決まっていないが栃木支部で対応する予定

会員計報

平成 28 年 12 月 23 日、斎藤郷太郎会員（会員番号 6733）が逝去されました。故斎藤会員は二本松市で日本酒醸造元の社長としてまた、JAC 会員として 47 年間在籍活躍され、昨年の支部新年会には元気なお姿で参加されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

会員番号 6733

斎藤郷太郎 享年 73 歳

自宅 〒964-0905

二本松市松岡 173

